

静岡県森町 個別施設計画（トンネル）

【計画期間】 令和元年～令和10年

【老朽化対策における基本方針】

- トンネルの劣化損傷が進み通行に支障が生じてから修繕するのではなく、「予防保全型」の手法を導入し、計画的に修繕していくことで、費用の縮減を図りながら構造物の長寿命化を目指す。

【新技術等の活用方針】

- ・トンネルの点検や修繕の新技术・新工法について、把握と活用に努め、事業費縮減と効率化を目指す。

【費用の縮減に関する具体的な方針(集約化・撤去を含む)】

- ・定期点検: 活用可能な新技術の活用を検討し、点検の効率化を図るとともに、次回の定期点検で費用削減を目指す。
- ・修繕: 修繕工事を実施する際は、ライフコストサイクルの検討を行い、新技術の活用を検討する。

【対策の優先順位の考え方】診断Ⅳ判定＞診断Ⅲ判定＞診断Ⅱ判定

診断Ⅳについては直ちに対策を行い、診断Ⅲについては点検実施から5年以内に対策を行うものとする。診断Ⅱについては重要度(利用性や被害波及性など)を考慮し、計画を策定。

令和6年3月更新

[illegible]